

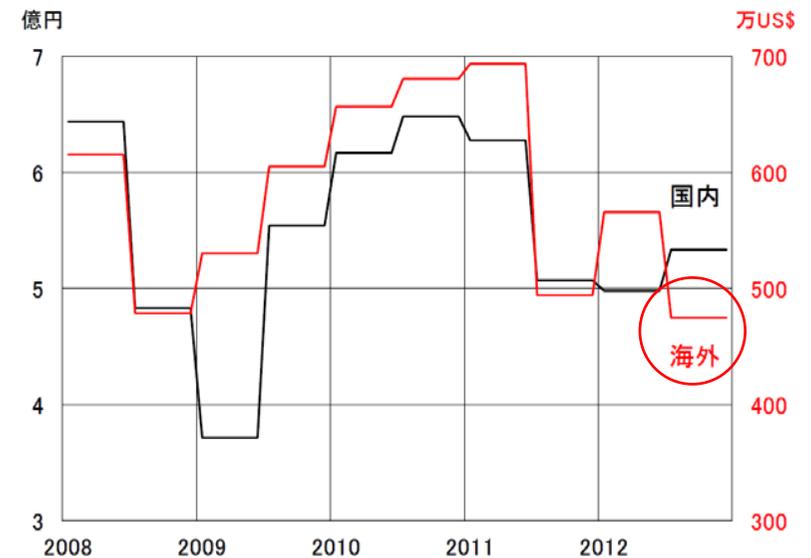
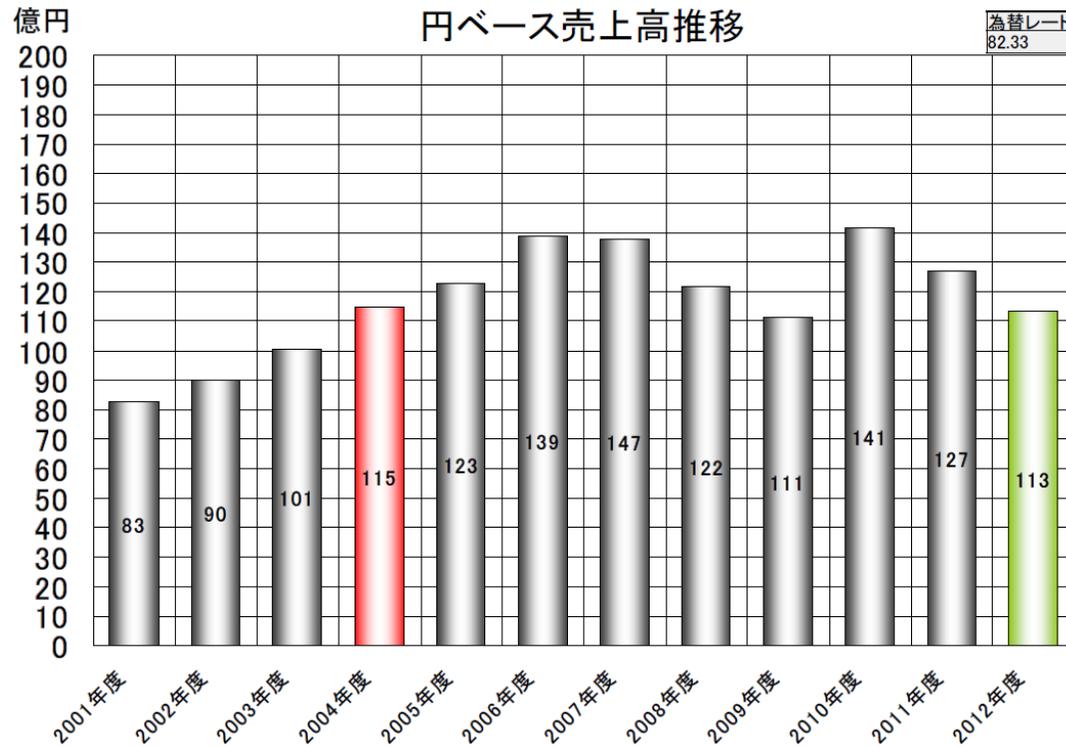
2014年3月期(2013年度) 中間決算説明会資料

2013年12月4日

岡谷電機産業株式会社

東京証券取引所 市場第一部
証券コード 6926

8年前に戻ってしまった 『この売上規模の拡大』を目指す



今期は海外に力を入れるとしてスタートした

上期の結果は

単位:百万円(万US\$)

	2012年度 上期実績	2013年度 上期実績	前年上期比 (%)	上期公表値	公表値差異
売上高	5,693	6,565	115%	6,100	8%
国内(百万円)	2,989	3,249	109%	3,300	-2%
海外(万US\$)	3,393	3,383	100%	3,300	3%
海外(百万円)	2,704	3,316	123%	2,800	18%
営業利益 (利益率)	147 (2.6%)	221 (3.4%)	150%	150 (2.5%)	48%
経常利益	132	289	218%	150	93%
純利益	99	168	169%	130	30%

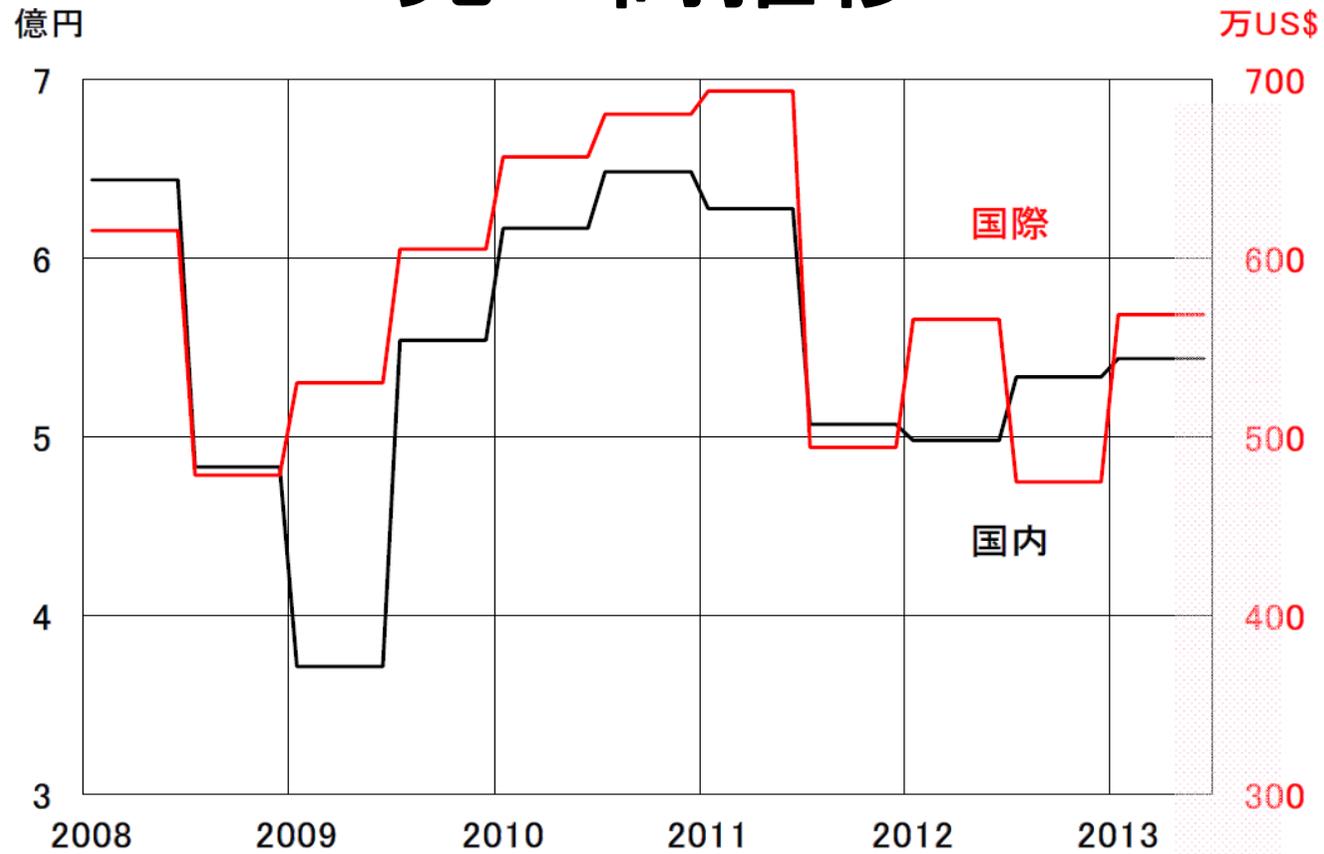
前年上期比 為替の影響(79.7→98.0=18.3円 円安)

売上高 56.9億円→65.6億円 8.7億円増 為替影響6億円 (実質増2.7億円)

営業利益 △0.5億円

経常利益 0.2億円 (為替差益0.7億円)

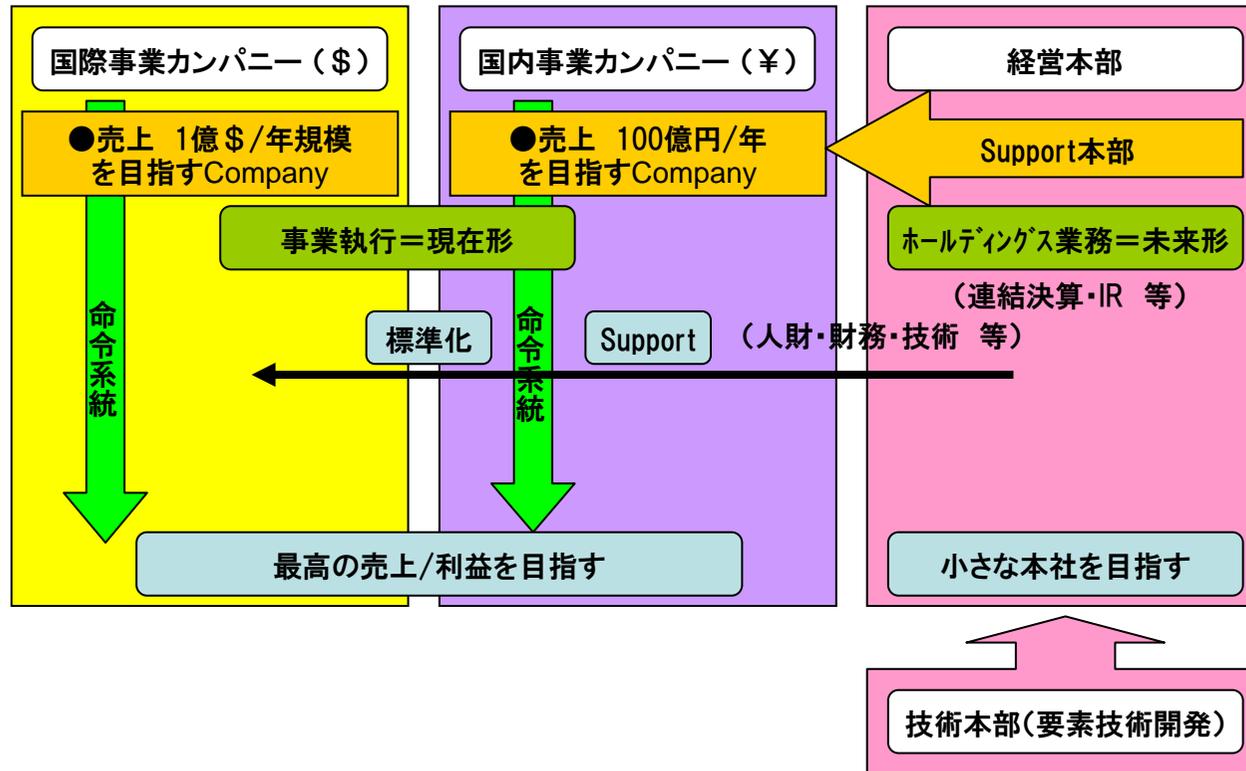
売上高推移



		2012年度 上期対比	2012年度 下期対比
売上高	国内(百万円)	109%	102%
	国際(万USD)	100%	119%

特に国際事業が大きく回復

海外事業に力を入れたとした事については 4月に実施した機構改革により



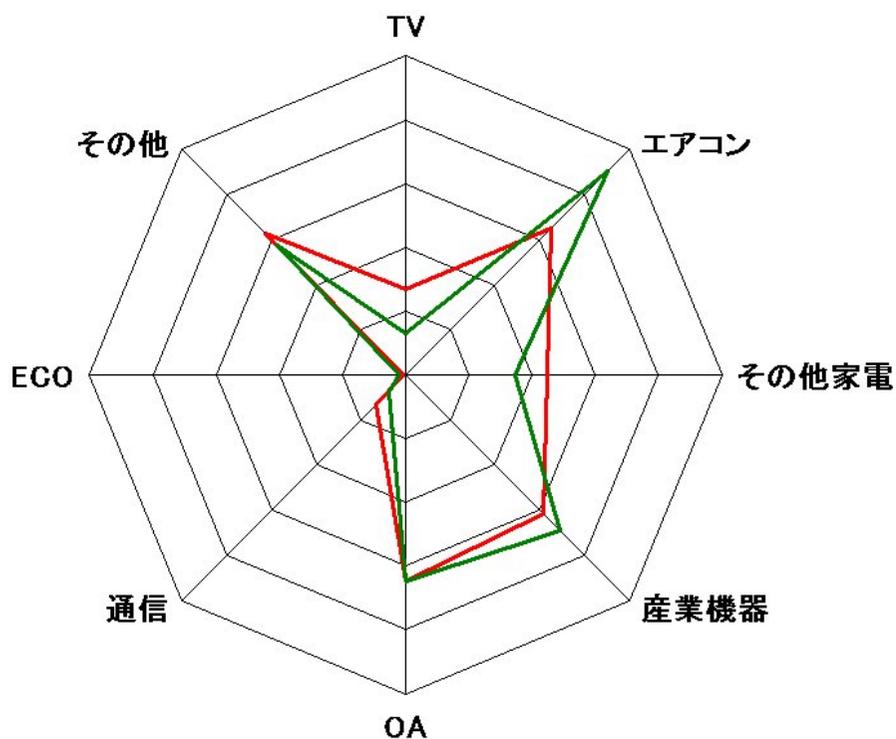
国際事業と国内事業に分け
海外に3名もの役員を出し

その効果が出てきた・課題が見えてきた！

この上期売上が伸びたものは

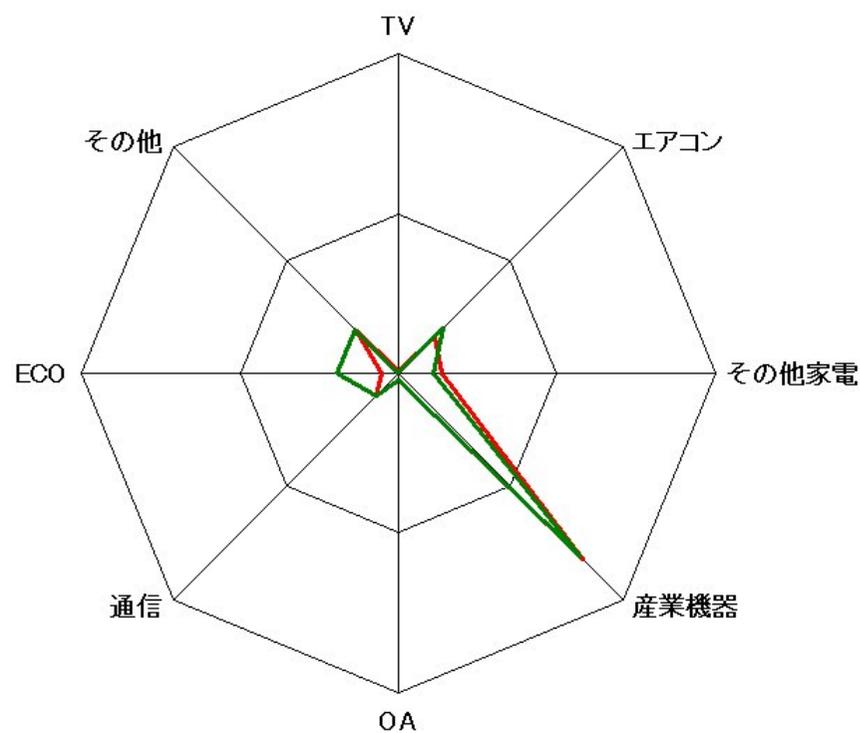
— 2012年度上期
— 2013年度上期

国際



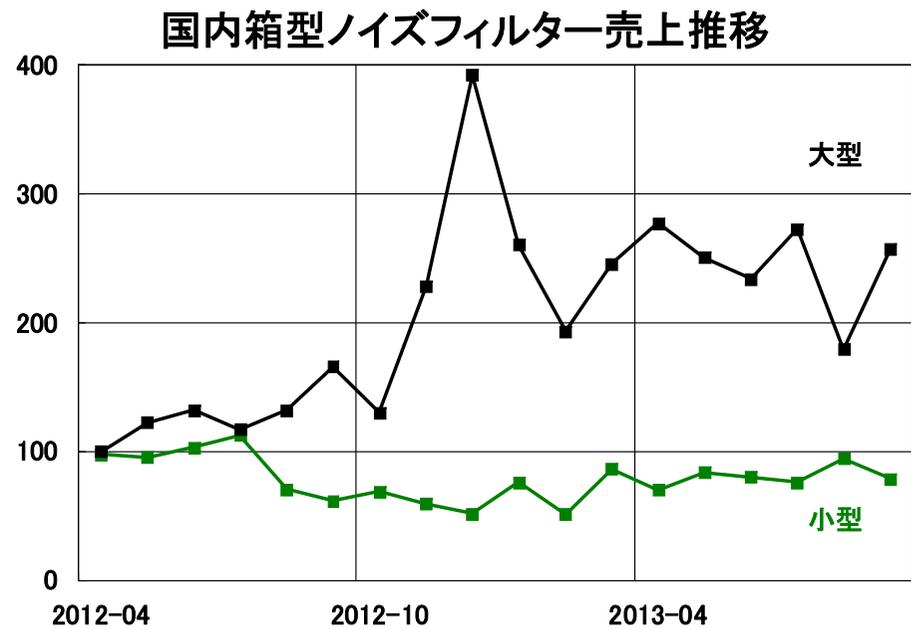
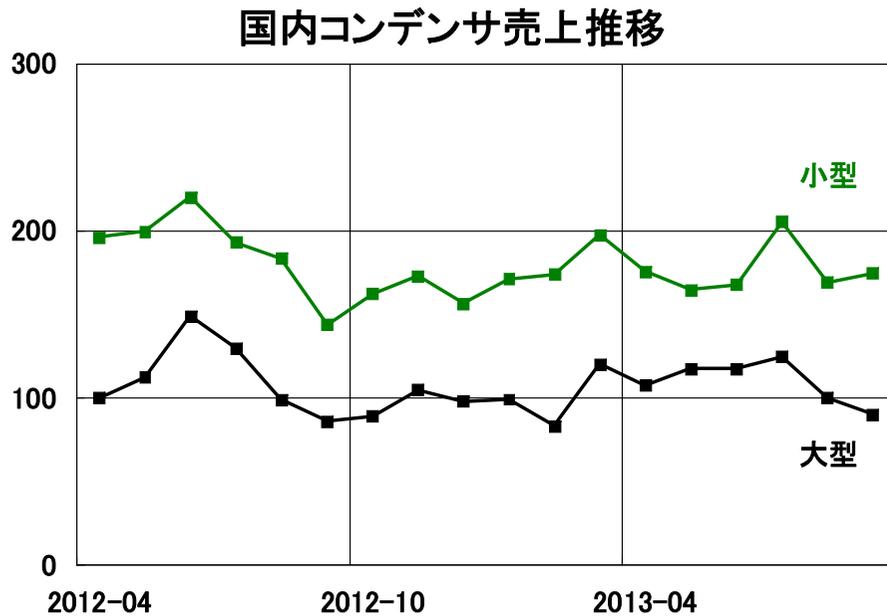
エアコン増加
TV減少

国内



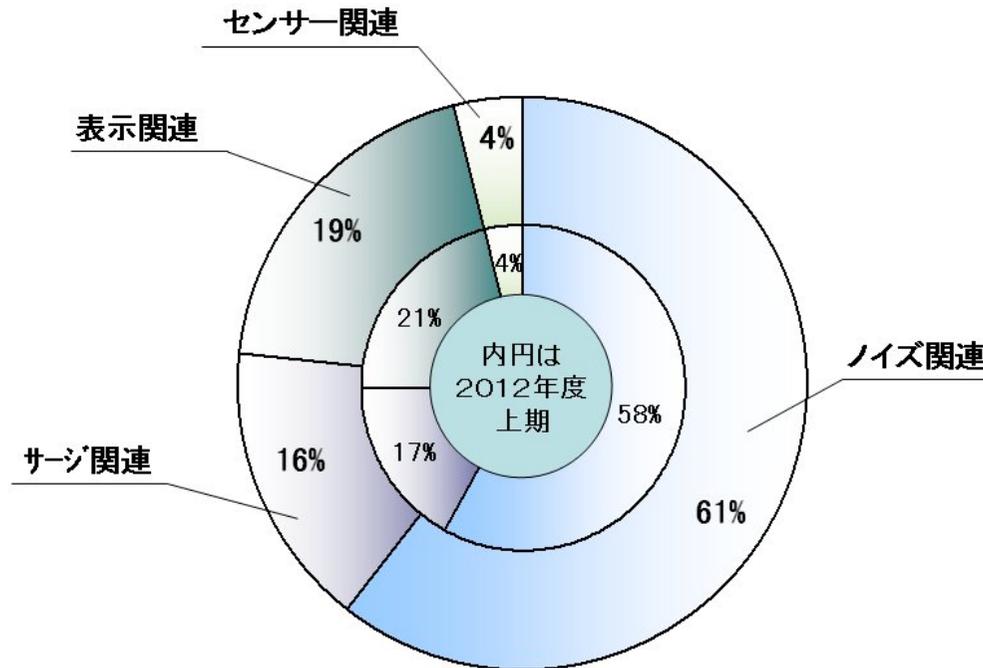
ECO増加
昨年下期に続き、産業機器は増加せず

国内事業は 大きなモノを増やす・方向転換が目標



まだまだ大きなモノの成果は不十分

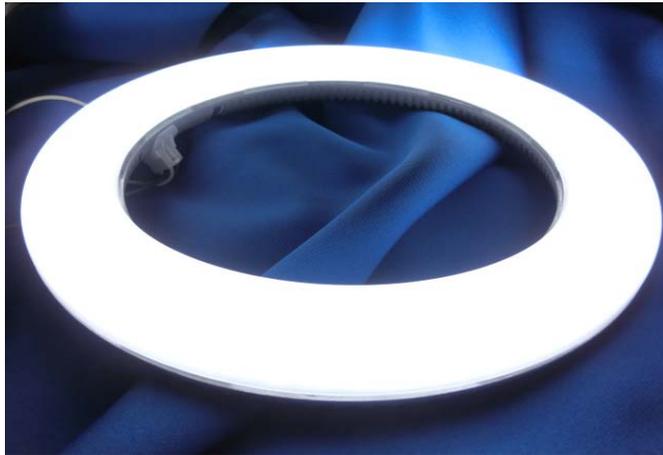
事業別売上高



事業別	2012年度上期実績		2013年度上期実績		前年 上期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
ノイズ	3,276	58%	3,984	61%	122%
サージ	963	17%	1,051	16%	109%
表示	1,197	21%	1,269	19%	106%
センサー	255	4%	260	4%	102%

2013年度計画	
前年比	ターゲット
115%	太陽光発電 急速充電器
119%	LED照明用
94%	PDP・LCDを終息 特殊照明用LEDを伸ばす
117%	産業機器向けエンコーダ

新商品

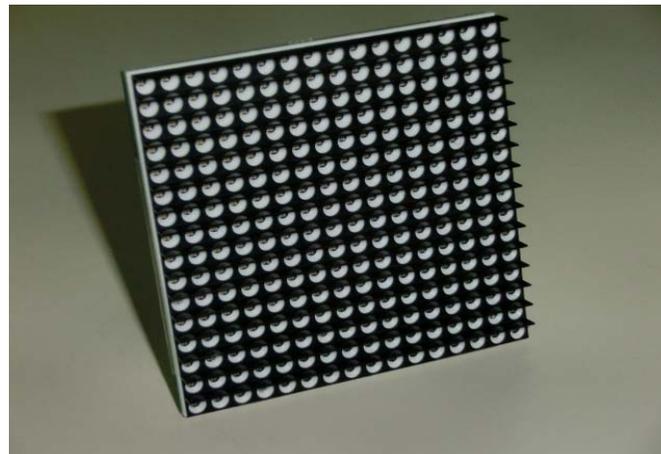


丸型蛍光灯代替LED



E12球LEDランプ

保守用
エレベータ
マンション
高所



16×16 256 LEDドットマトリックス
(フルカラーも出来る)

地域別売上高

単位：百万円(万US\$)

	売上高			前年上期比	構成比
	2012年度上期	2013年度上期	増減		
日本 (百万円)	3,022	3,240	218	107%	49%
アジア (百万円)	2,114	2,677	563	127%	41%
	(万US\$)	2,652	2,732	80	103%
USA・EU他 (百万円)	557	648	91	116%	10%
	(万US\$)	699	661	-38	95%
合計 (百万円)	5,693	6,565	872	115%	100%
	(万US\$)	3,351	3,393	42	101%

国際事業スペックイン営業力の強化 (日系以外を増やす)

これまで海外は、日系が主
従ってスペックインの大半は日本
〔アメリカを除けば、海外売上の9割が日系
内8割は日本でのスペックイン〕
これまでの海外営業は、その追かけが主
『その癖が治っていない』
本質を良くする

アジア売上のスペックイン場所

スペックイン場所	2012年度 上期	2013年度 上期	前年上期比
	構成比	構成比	
日本	80%	80%	103%
台湾	7%	6%	86%
中国	10%	11%	114%
東南アジア	1%	2%	181%
米国	2%	1%	55%
合計	100%	100%	103%

上期の売上には殆ど寄与していない
徐々に行動が始まったところ

営業利益の増減分析(前年同期比)

(2012年度上期／2013年度上期)

億円

3.0

2.5

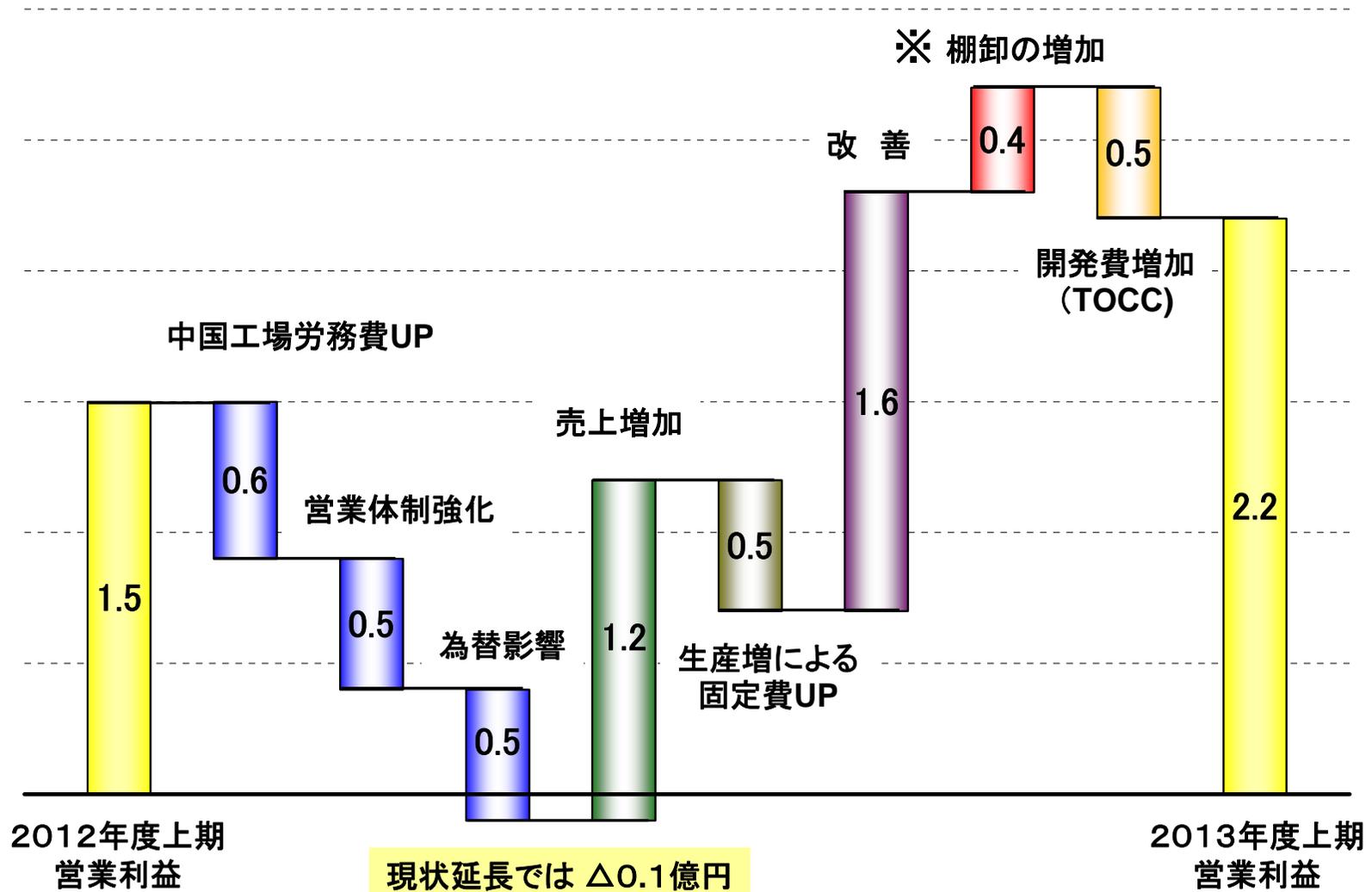
2.0

1.5

1.0

0.5

0.0



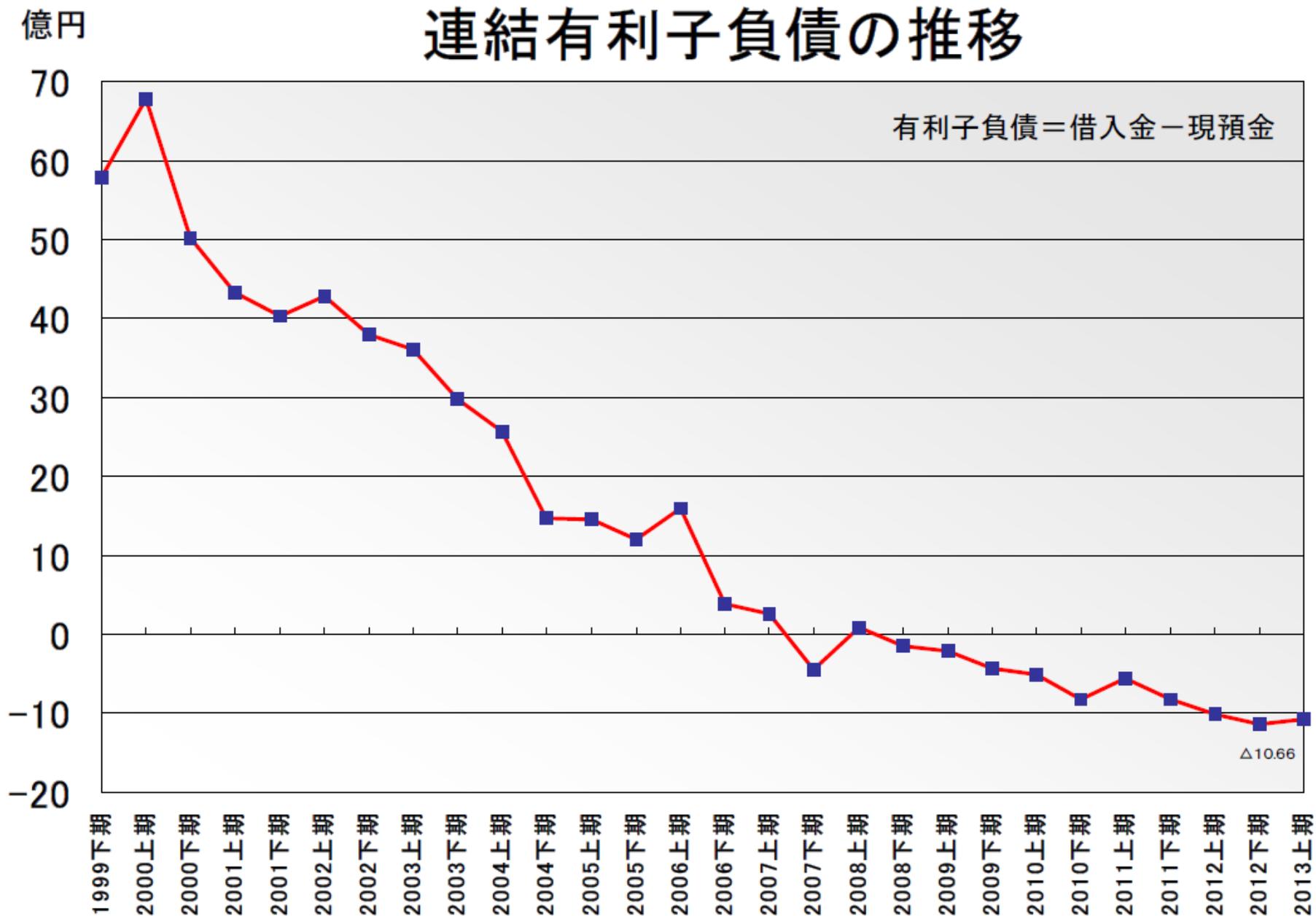
※ 棚卸の増加 → 中国工場旧正月対応・安全規格変更対応

2013年9月期 財務状況(連結)

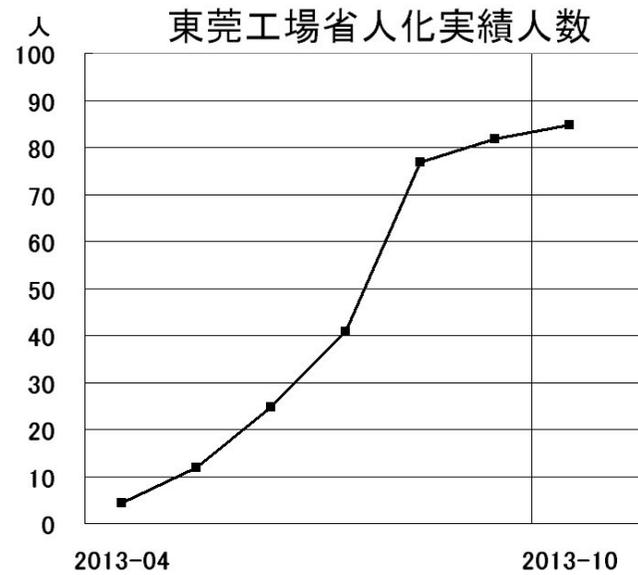
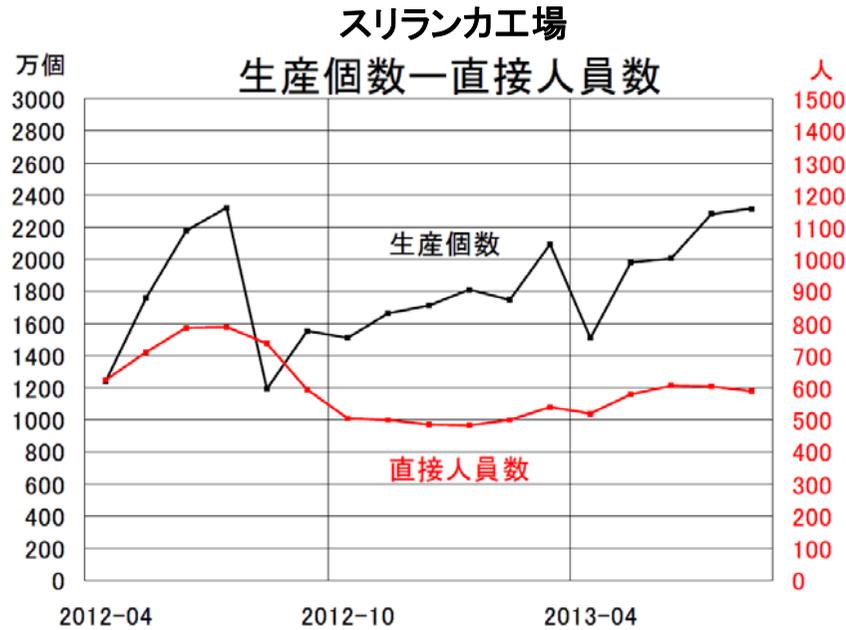
単位:百万円

	13/3期	13/9期	増減	
流動資産	6,882	7,525	643	
現金及び預金	1,116	1,314	198	
受取手形及び売掛金	4,071	4,230	159	
棚卸資産	1,348	1,625	277	中国工場旧正月対応 安全規格変更対応
その他	347	356	9	
固定資産	5,540	5,443	△ 97	設備投資1.2億円 減価償却△3.5億円 為替影響0.4億円
有形固定資産	2,863	2,719	△ 144	
無形固定資産	226	184	△ 42	
その他資産	2,451	2,540	89	有価証券の時価上昇
資産合計	12,422	12,968	546	為替影響1.9億円
支払手形・買掛金	968	1,212	244	
借入金	982	1,248	266	
その他	1,944	1,758	△ 187	運転資金の増加
負債合計	3,894	4,218	323	
純資産合計	8,528	8,750	222	
自己資本比率	67.7%	67.0%	△0.7%	

連結有利子負債の推移



東莞工場・スリランカ工場



	2013年7月	2013年8月	2013年9月
稼働日(日)	30	30	27
休日出勤日数(日)	7	8	7

休日残業代は基準賃金の2倍



外観検査機

東莞休日残業を減らす→スリランカ拡大

2013年度投資計画と上期実績

投資計画	上期実績
●改善設備投資 …………… 380百万円	75百万円
●新商品開発設備投資… 340百万円	44百万円
TOCキャパシタ 70百万円	21百万円
設備投資計 720百万円	119百万円
●研究開発投資 …………… 520百万円	295百万円
TOCキャパシタ 170百万円	95百万円
投資合計 1240百万円	414百万円

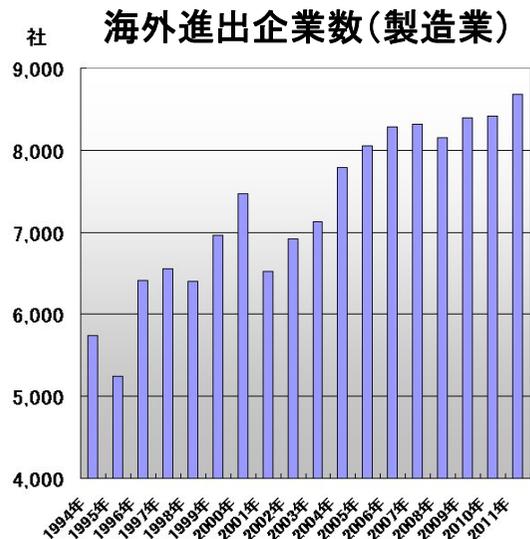
2013年度通期業績予想

単位:百万円

	連 結		
	前年実績	年間予想	前年比
売上高	11,326	12,600	111%
営業利益 (利益率)	194 (1.7%)	450 (3.6%)	232%
経常利益	323	450	139%
純利益	207	350	168%
配 当	年間9円	中間期4円+期末5円=9円	

下期の環境は依然不透明であり
年間予想は据え置きとさせていただきます

売上規模を大きくするには 国内事業は「さがす」



- ✓ 分野の拡大
- ✓ 事業の拡大
- ✓ 新規事業

国際事業は「増やす」

- ✓ 数量
- ✓ 付加価値

**ご清聴ありがとうございました
ご支援のほどよろしくお願いいたします**

連絡先

窓 口：経営本部

メールアドレス：OEI_Kouhou@okayaelec.co.jp

電話番号：03-4544-7000

FAX番号：03-4544-7007

なお、本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が、様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。